

法人（事業所）理念	・小さな要望にも耳を傾け、心を込めて支援します。・どんな時も明るい笑顔と挨拶を欠かしません。・安心安全な環境作りに努めます。							
支援方針	社会生活を見据え、身辺自立に向けた様々な経験が出来るような支援を行っていきます。 つの柱 ・食育→知育 德育 体育の基本・運動（粗大運動）→身体全体を使った運動・製作（微細運動）→小さな筋肉を使う細かい運動							
営業時間	学校課業日 学校休業日	13 時 10 時	45 分から 30 分	17 時 16 時	45 分まで 30 分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	食育：調理活動を行い手作りおやつや行事食を提供し食に興味を持つことで食域を広げる。 また、食育を通して、食事に対してのマナーを身につける。 運動：適度に身体を動かすことで、睡眠リズムを整え情緒の安定を図る。 また、粗大運動を通して日常生活に必要な筋力アップに繋げます。 製作：絵を描く ちぎる 貼る ハサミを使用するなどの微細運動を通し食具を使う事や衣服の着脱に繋げていく。						
	運動・感覚	食育：様々な食材（やわらかい、硬い）や調理器具を使いながら力加減や手首などの使い方を学ぶ。 運動：外出活動や公園遊びなどを通して体の動かし方を学び、体力向上に繋げる。 製作：様々な素材を使用し、ツルツル ザラザラ ドロドロ ベタベタの感触や感触の違いを楽しみながら学ぶ。 また、ちぎる丸めるなどの工程を通して、指先などの感覚や使い方を学ぶ。						
	認知・行動	食育：計量カップを使用することで、物の大きさや分量を学ぶ。 また、調理工程を見る、聞くを通して記憶し、実際に使うことでソーシャルスキルを学んでいきます。 運動：ルール性のある遊び（鬼ごっこ等）、ボールや大繩を使用し空間認知や集中力を養います。 製作：様々な材料や道具を提供することで、想像力や創作意欲を高めていきます。						
	言語 コミュニケーション	食育：小集団で食育を行うことで、おいしい やってみたい等の気持ちや意思を言葉やジェスチャーで表現する方法を身につける。 運動：公園遊び、ボール遊び、大繩遊び等を行うことで協調性やルールを身につける。 製作：制作に使用する道具を共有することで、他児とのコミュニケーションを学ぶ。						
	人間関係 社会性	公共交通機関 公共施設等の利用を通し、ルールーやマナーを学び普段関りのない方々と触れ合い社会性を身に着ける。 外出活動を通して、交通ルールを学び、危機管理能力を養う。 家族以外の大人やお友達と出かける事の楽しさを学びながら、他者に合わせた行動や振る舞いを学ぶ。						
家族支援	保護者会の開催（先輩ママからの就学や団りごと等のアドバイスや経験談）。 夏祭りやクリスマス会等、家族も一緒に参加できる季節の行事の開催。 家族がレスパイトできるよう、社会資源の活用のアドバイス。 日々の送迎時や面談などで保護者様との共有をすることで適切な支援内容提供していく。		移行支援	児童の発達段階を把握し、就学先や就労先が適切であるか、保護者や学校等と連携を図りながら支援をしている。本人にとって無理のない環境の提案をしていく。				
地域支援・地域連携	老人ホーム（作品を持っていく、折り紙などの遊びを通した交流） 商店街（買い物レク、外食レク） 季節のイベントに近隣の方に参加・協力をしてもらい事業所の理解を深めていく。		職員の質の向上	外部研修 社内研修。事故報告書 ヒヤリハットの作成を徹底し、再発防止に努めている。1日が終わった後の自分自身の支援の振り返りをし虐待防止に繋げる。日々の朝礼や会議内で児童の支援に対する共有を行い、統一した支援を心がける。				
主な行事等	季節感を感じられる行事を楽しむ（ハロウィン クリスマス 夏の水遊び 夏祭り 等） 公共機関を利用した外出・フードコート等を利用した外食レク。 公共施設（博物館 科学館 水族館等）の利用をし、様々な事を楽しみながら学ぶ。							